

令和元年度 病害虫発生予察情報

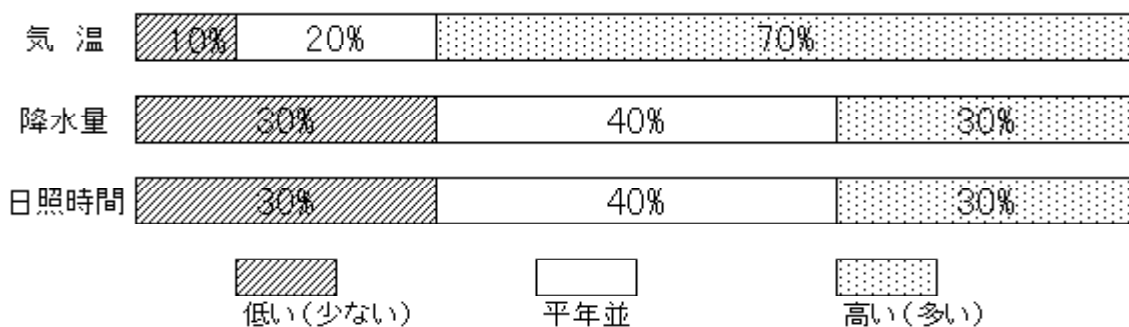
発生予報第8号（10月）

令和元年10月 9日
島 根 県

予報の概要

区分	農作物名	病害虫名	予想発生量
果樹	カキ	カメムシ類	やや多い
野菜	キャベツ	黒腐病	やや少ない
	アブラナ科野菜	菌核病	やや少ない
		コナガ	少ない～やや少ない
	ハスモンヨトウ	平年並	

中国地方1か月予報(10月5日～11月4日・広島地方气象台10月3日発表)
<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



A. 果樹

1) カキ

(1) カメムシ類

予報内容

発生地方 県内カキ栽培地帯

発生量 やや多い

予報の根拠

① 9月第1半旬から9月第6半旬までの予察灯（出雲市）でのカメムシ類の誘殺数は653頭（平年173.0頭）とやや多い。

② 9月下旬の巡回調査での累積被害果率は7.2%（平年5.6%）と平年並みである。

③ 10月の気象は、本種の発生を特に抑制する要因とはならない。

B. 野菜

1) キャベツ

(1) 黒腐病

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 やや少ない

予報の根拠

① 9月30日現在、巡回調査ほ場において発生は確認されておらず（平年発生ほ場率1.3%）、全般の発生量はやや少ない。

② ハスモンヨトウ等食葉性害虫の発生は平年並みと予想されている。

③ 10月の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。

(2) 菌核病

予報内容

発生地方 県内全域
発生量 やや少ない

予報の根拠

- ① 9月30日現在、巡回調査ほ場において発生は確認されておらず（平年発生ほ場率2.3%）、全般の発生量はやや少ない。
- ② 10月の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。

2) アブラナ科野菜

(1) コナガ

予報内容

発生地方 県内全域
発生量 少ない～やや少ない

予報の根拠

- ① 9月下旬の巡回調査においてアブラナ科野菜での卵・幼虫・蛹の発生ほ場率は0%（平年16.0%）、寄生株率は0%（平年1.9%）と平年に比べて少ない。
- ② 10月の気象は、本種の発生にやや助長的である。

(2) ハスモンヨトウ

予報内容

発生地方 県内全域
発生量 平年並

予報の根拠

- ① 9月第6半旬までのフェロモントラップによる累積雄成虫誘殺数は、県東部で618頭（平年943.6頭）、県西部で707頭（平年1630.1頭）と平年よりやや少ない。
- ② 9月下旬の巡回調査においてアブラナ科野菜での卵塊・幼虫発生ほ場率は27.3%（平年19.7%）、寄生株率は1.4%（平年3.0%）と平年並みである。
- ③ 10月の気象は、本種の発生にやや助長的である。

島根県病虫害防除所

(島根県農業技術センター 資源環境研究部 病虫科)

〒693-0035 出雲市芦渡町2440

TEL：0853-22-6772

FAX：0853-24-3342

ホームページアドレス：

http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/gijutsu/nougyo_tech/byougaityuu/